

留学報告書 ～チャレンジする精神～

国立高雄大學
国際文化学部生（中期）

私の台湾留学は挫折と成長の日々でした。大学で中国語を学んでいたときに成績は悪くはないし授業も出席していたし、留学に行きたかったから HSK もチャレンジして3級取得したし学内のスピーチコンテストで敢闘賞もいただいて留学初日から大丈夫だと思っていました。ですが実際はそうではなくて自分が思っていたよりも中国語ができずに何度も挫折しました。初めて寮についた日私以外に3人いて、1人は中国人、2人はインドネシア人でした。私は英語が話せずみんなの共通語はもちろん中国語でした。最初自己紹介をするとき

自分の自己紹介を言うだけならできるけど質問されたときや同じ部屋の子の自己紹介をうまく聞き取れなくて何回も聞き直したりゆっくり話してもらったり翻訳を使ったりと中国語が聞き取れなくて苦労しました。その日私は来たばかりでドライヤーを買っていなくてお風呂出た後、髪の毛をタオルで乾かしていたときインドネシア人の子が自分のドライヤーを私のところまでもってきて使ってと言ってくれたことがとてもうれしかったです。その子は私と同じ東アジア言語学科の子で日本語を学んでいました。なので初日から簡単な日本語の単語を他のインドネシアの子と一緒に私に言ってくれたことがうれしくて今でも覚えています。

次の日私はやることも特になかったのが初日に仲良くなった日本人の女の子と高雄を満喫しようと新堀江といって若者が服を買ったりする場所に行きました。その女の子も私と同じで半年の留学で手続きや SIM カードを変えたりなどしなくてもいい子でやることがないと言っていたので誘い一緒に過ごしました。夜はチューターに日用品揃えたいといって日本人数名とチューターと行きました。無事に日用品もそろえることができたのでみんなでタピオカを買いに五十嵐に行きそれぞれ一人ずつ中国語で注文して飲みました。その日学校を少し歩いたのですが敷地がとても広く学校 3 周くらいしたらフルマラソンくらいの距離があるといわれました。自分たちの寮から外に出るのに歩いて10分くらいかかり一番遠い教室までだと歩いて20分かかるところもあり大変でした。

台湾に来て4日目くらいに朝早くから健康診断に行きました。朝から何も食わず健康診断を受けていたのでみんなで終わった後近くにケンタッキー・フライド・チキンがあったので食べに行きました。そのあとバスで帰ってきたあと日本人4人とモンゴル人2人と台湾人1人で旗津というところに行きました。港なので砂浜で写真撮ったり、かき氷食べたりしました。そのあとは世界で2番目に綺麗といわれる美麗島の駅に行きました。天井と柱がとてもきれいでした。夜は夜市に行き好きなものを頼んで食べとても楽しかったです。留學生活が始まって3週間くらいの時に交換留学生で遠足に行きました。行先は台湾の最南端に行きました。私たちがいた高雄からバスで3時間くらいのところにありました。水族館に行きました。バスの中でたくさんのゲームやビンゴ大会などして楽しかったです。留學中の中国語の勉強はとても大変でした。授業は全部中国語で進んでいくのでわからないことが最初多かったです。前学期からいた同い年の女の子がいて中国語ができるので最初のころわからなかったらその子にたくさん質問していました。先生の言っていることが理解できなかったり、今何したらいいかわからないことが多く自分って思ったよりも中国語全然できてないなとそこで改めて感じました。なのでその日から毎日夜に学校の外にあるコンビニで勉強するようになりました。自分の部屋で勉強するよりも外で勉強すると中国語が飛び交っている中で勉強できると感じたので自分はコンビニで勉強するようになりました。まずは毎回授業で出される宿題を解いていきました。私は留学生用の中国語授業と台湾人向けの日本語授業を受けていました。中国語の授業は会話と読解に分かれていて、

会話の授業はパワーポイントを使っての授業でした。中間や期末はお題に沿ったパワーポイントを作って発表しました。原稿もパワーポイントも中国語で作らなければならなかったのが台湾人の子に添削してもらってピンインを上につったり原稿を作るのに苦戦しました。読解は教科書がありそれを使って授業をしました。その教科書は訳が英語なので分からない中国語の単語にはピンインと意味を書いて覚えました。毎回穴あきの部分が宿題になったりとわからないことが多く台湾人の子に教えてもらいながら宿題を終わらせました。毎週火曜日のお昼にマレーシア人の子に中国語を教えてもらうなど毎日中国語を学びました。日本語の授業も中国語で毎日勉強していた甲斐もあってか2か月たった時には先生の話している中国語が聞き取れるようになっていて、最初戸惑っていた宿題もだんだんできるようになっていたことがうれしかったです。

留学中に国際交流イベントがあり日本人はソーラン節とお好み焼きを作るチームに分かれて参加しました。私は両方兼任してお好み焼きのほうではリーダーを務めました。ソーラン節は一か月ほど毎週夜に集まり練習しました。毎週やるソーラン節の練習は楽しく本番に向けてみんなで頑張るふりを覚えてイベントで歌う中国語の歌も正規の学生が先生になって練習するのが楽しみの一つでもありました。お好み焼きのリーダーは中国語か英語で料理の説明を舞台でやらなきゃいけなくて原稿を作って添削してもらって毎日練習して覚えました。本番では最初にお好み焼きの発表をしたのですが中国語で発表したのは韓国人とマレーシア人と台湾人と私の4人だけでした。私は2番目に発表だったのですが緊張して原稿が頭から飛んでしまった時中国語で頑張れと皆さん言ってくれたことがうれしく台湾人の方たちだけでなくいろいろな国の子たちに励まされながら最後まで言い切ることができました。中国語で料理説明をチャレンジして本当に良かったと思います。中国語を覚えることもでき、皆さんの温かさがとても伝わりました。ソーラン節ではみんな踊りをまねしてくれたり掛け声を一緒にしたりととても楽しいイベントでした。

そんな留学生活は本当に早く過ぎて帰る日が近づいてきて最後の授業の日仲の良かった台湾人の友達やマレーシアの子たちからプレゼントもらってとてもうれしかったです。同じ大学ではないけど一緒に台湾で留学した岡田ゆうなど最後台北旅行をした先の籠屋さんの店員さんと中国語で会話したことが思い出です。最初は全然話せなかった中国語も店員さんと会話できて日本語をその店員さんに教えたりなど留学してよかったなおもいました。留学は大変な思いをすることもあったけど楽しいことが多く現地の子たちと仲良くなれてとてもいい経験でした。同じ大学に留学した剣心にわからないこと教えあったりご飯食べに行ったりなどお世話になりました。この台湾留学で会った人たちとこれからも仲良くしていきたいと思っています。



